

# 伝教大師千二百年大遠忌記念



## 現代語訳 最澄全集 全四巻

大竹晋  
訳

最澄像(国宝、兵庫県一乗寺所蔵。画像提供：奈良国立博物館、撮影：森村欣司)

### 本書の特色

- 一、本全集は、おおむね真作と裏づけられる最澄の著作を、現代日本語の個人全訳によって集成するものである。収録の基準などについては、第一巻の「総解題」に記した。底本には、叡山学院(編)『伝教大師全集』全五巻(比較山園書刊行所、一九二一—一九二七年)を使用した(天台法華宗付法縁起については諸文献から逸文を回収して使用)。
- 一、第一巻には主に入唐・立教開宗にかかわるものを、第二・四巻には法相宗の徳一とのあいだに繰り広げられた三権実論に関するものを、それぞれ執筆年代順に収録した。
- 一、各著作の引用・転用文献については、可能な限り出典を記した。また、原文に引用される漢訳インド仏教文献については、原則として対応する梵文・藏訳を参照し、解説に正確を期した。
- 一、最澄の込み入った議論を理解しやすくするため、各巻冒頭に「現代語訳 最澄全集」を読むための基礎知識二四節を付し、図入りで解説した。
- 一、第四巻末には「人名索引」「文献索引」を付し、本全集を深く利用するための便をはかった。「文献索引」中、特に頻繁に引用されるものについては、品名を子項目として立てた。
- 一、第四巻末に「付録3 非最澄著作から回収される徳一著作逸文」を付したことによって、本全集は現在知られている徳一の逸文(未翻刻の逸文を除く)の現代語訳集成としても利用可能である。

### 造本

A5判(210×148<sup>5/8</sup>) / 上製クロス装 / 貼函入  
本文組：一三級一段組  
装幀：Malpu Design

### 訳者紹介

大竹 晋 (おおたけ すずむ)

1974年、岐阜県生まれ。筑波大学卒業。博士(文学)。現在、仏典翻訳家。  
著書に『宗祖に訊く』『大乘起信論成立問題の研究』『大乘非仏説をこえて』『セルフ授戒で仏教徒』(国書刊行会)、『唯識説を中心とした初期華嚴教学の研究』『元魏漢訳ヴァスバンドウ釈経論群の研究』(大蔵出版)、『「悟り体験」を読む』(新潮社)、訳書に新国訳大蔵経・『十地経論I・II』『大宝積経論』『能断金剛般若波羅蜜多経論釈他』『法華経論・無量寿経論他』(大蔵出版)などがある。

## 現代語訳 最澄全集 全四巻 二〇二一年五月全巻同時刊行

- 第一巻——入唐開宗篇  
ISBN 978-4-336-07069-2  
定価 8,800円(10%税込)
- 第二巻——権実諍論篇1  
ISBN 978-4-336-07070-8  
定価 8,300円(10%税込)
- 第三巻——権実諍論篇2  
ISBN 978-4-336-07071-5  
定価 8,300円(10%税込)
- 第四巻——権実諍論篇3  
ISBN 978-4-336-07072-2  
定価 8,140円(10%税込)

### 国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 Tel. 03-5970-7421 Fax. 03-5970-7427  
URL: <https://www.kokusho.co.jp> E-mail: [info@kokusho.co.jp](mailto:info@kokusho.co.jp)

### 申込書

『現代語訳 最澄全集』  
第一・二・三・四巻を 各 \_\_\_\_\_ 部申し込みます。

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

電話・FAX \_\_\_\_\_

お取扱書店

\*必要事項をご記入の上、最寄りの書店へお申し込みください。



刊行にあたって

# 伝教大師の志を継承するために

大竹晋（訳者）

日本仏教諸宗の宗祖たちの多くについては現代日本語訳による全集が刊行されているが、伝教大師最澄についてはいまだそれが刊行されていない。今回、大師の千二百年大遠忌を期に、拙訳によってそれをお届けできるのは訳者の光栄とするところである。

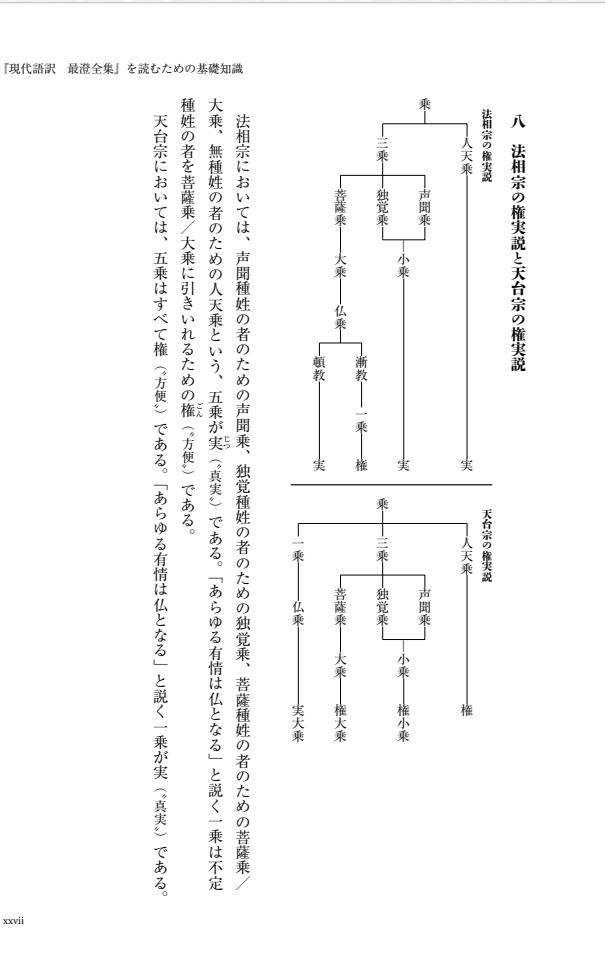
従来、大師については、その著作の難解さゆえに、全貌の把握は容易ではなかった。今回の全集によって、些かなりとも大師の全貌の把握に貢献できるならば、訳者の欣快、これに過ぎるものはない。

今回の全集によって髣髴とさせられる大師像は、持戒と学問とにたゆまぬ努力を重ねるかたである。大師は声聞戒を棄て『梵網経』の菩薩戒をたもっておられたが、ご自身は声聞を超えるほどの厳しい行持によって身を律しておられた。大師は三乗の真実なることを信じず一乗の真実なることを信じておられたが、ご自身は三乗の教えを広く深く学んでおられた。

大師の没後、天台宗とそこから派生した諸宗とに破戒が蔓延したこともあって、大師が声聞戒を棄てたことが僧界の墮落の原因を作ったように言われることもあるが、今回の全集によってわかるように、大師ご自身は決して墮落を認めるかたではなかった。

さらに、大師の没後、天台宗とそこから派生した諸宗とに一乗の真実なることが当然視されたこともあって、大師が、三乗の真実なることを信ずる法相宗の学匠、徳一師と交わした議論は学ばれることが少なくなっていったが、今回の全集によってわかるように、大師ご自身は決して三乗を等閑視するいわゆる「腰抜け円頓」を求めるかたではなかった。

大師がいただいた上求菩提、下化衆生の高邁な志は持戒と学問とに裏づけられる。持戒なくして菩提は求められず、学問なくして衆生は化されない。今回の全集によって、大師の実像が仏教に関心を持つ多くの日本人に知られ、その志を真に継承する人々が僧界・俗界に現われるならば幸いである。



xxvii

組見本（62%）

## 収録内容

### 第一巻——入唐開宗篇

- 願文
- 請入唐請益表
- 授菩薩戒儀
- 大唐新羅諸宗義匠依憑天台義集
- 天台法華宗付法縁起
- 註無量義経
- 山家学生式
- 比叡山天台法華院得業学生式
- 請菩薩出家表
- 請立大乘戒表
- 天台法華宗年分得度学生名帳
- 内証仏法相承血脉譜
- 顕戒論
- 上顕戒論表
- 顕戒論縁起
- 遺言

### 第二巻——権実諍論篇1

- 照権実鏡
- 法華輔照——『法華秀句』巻中
- 守護国界章 巻上

### 第三巻——権実諍論篇2

- 守護国界章 巻中・巻下

### 第四巻——権実諍論篇3

- 通六九証破比量文
- 決権実論
- 法華秀句——巻上、巻下

付録1 『法華去惑』——『法華去惑』にあって

『守護国界章』巻中になく

付録2 円珍『辟支仏義集』から回収される

實『助照法華融文集』逸文

付録3 非最澄著作から回収される

徳一著作逸文

## 執筆年順収録著作一覧

- 延暦四年（七八五）頃
  - 延暦二十一年（八〇二）九月
  - 大同元年（八〇六）頃
  - 弘仁四年（八三三）九月一日
  - 弘仁四年（八三三）以前
  - 弘仁七年（八七二）以前
  - 弘仁八年（八七二）九月八日頃
  - 弘仁九年（八七八）五月十三日
  - 弘仁九年（八七八）五月十五日
  - 弘仁九年（八七八）五月二十一日
  - 弘仁九年（八七八）八月二十七日
  - 弘仁十年（八八九）三月十五日
  - 弘仁十年（八八九）三月十五日
  - 弘仁十年（八八九）三月十五日
  - 弘仁十一年（八九〇）頃
  - 弘仁十一年（八九〇）二月
  - 弘仁十二年（八九二）三月
  - 弘仁十二年（八九二）三月
  - 弘仁十三年（八九二）三月
- 【願文】（第一巻所収）
- 【請入唐請益表】（第一巻所収）
- 【授菩薩戒儀】（第一巻所収）
- 【大唐新羅諸宗義匠依憑天台義集】（第一巻所収）
- 【天台法華宗付法縁起】（第一巻所収）
- 【註無量義経】（第一巻所収）
- 【照権実鏡】（第二巻所収）
- 【法華輔照】（第二巻所収）
- 【守護国界章】（第一巻、第二巻所収）
- 【山家学生式】（八条式）（第一巻所収）
- 【山家学生式】（四条式）（第一巻所収）
- 【請立大乘戒表】（第一巻所収）
- 【天台法華宗年分得度学生名帳】（第一巻所収）
- 【通六九証破比量文】（第四巻所収）
- 【決権実論】（第四巻所収）
- 【顕戒論】（第一巻所収）
- 【上顕戒論表】（第一巻所収）
- 【顕戒論縁起】（第一巻所収）
- 【法華秀句】（第四巻所収）
- 【遺言】（第一巻所収）